



GO>ganic 通信

つなげよう、有機農業の輪。

Vol. 17

2026年2月発行

「江津市の有機農業がもっと知りたい！」
「今日は有機食材を食べてみようかな」
一人でも多くの方に思っていただけるように、
江津市のGO-ganicに関する情報をお届けします。

江津独自のシールのPRも

サンピコごうつに有機コーナーを設置

1月9日より期間限定で江津市の道の駅「サンピコごうつ」にて有機農業のPRとして有機コーナーを設置していただいている。江津市は耕地面積に占める有機農業の取組面積が960市町村のうち12位（令和6年度実績）と全国でも高いランクに位置しています。耕地面積は小さいものの、それだけ有機農業に取り組む生産者さんの割合が高い市であり、江津市民はじめ、訪れた人にもぜひ知りたいと思っています。



△サンピコ入口すぐのコーナーの様子

コーナーには、有機JAS認証のある農産物だけでなく、本通信のお知らせコーナー（裏面下部）にも記載しているこだわり野菜PRシールの利用者の野菜も並びます。江津市には有機JASの認証を取得していないけど、農薬や化学肥料を使わない栽培で育てる生産者も沢山います。栽培記録を提出してもらうこと等を条件で無料で配布しているこのPRシールは消費者の目につきやすいと利用者の方にも好評です。サンピコごうつや、お近くのスーパーでぜひPRシールを見つけてください。



△協議会のPRシールを貼った農産物

江津市独自の取組

無肥料米の会の振り返り勉強会



▷振り返り会の様子

1月29日学校給食米に取り組む無肥料米の会のメンバーで今年度の振り返り勉強会を行いました。無肥料米については本通信 Vol.8 に詳しく記載していますが、簡単に言うと、肥料を極力与えずに自然の仕組みの中で育てた「腐りにくい」お米です。今年度栽培された無肥料米は5つの事業者の方に取り組んでいただき令和8年2月から10月くらいまで、試験的に桜江給食センターで導入を予定しています。

振り返り勉強会では、それぞれの栽培記録を確認しながら、課題点などを相談しあいました。有機肥料を使った栽培と比べて収穫量が少なかった原因の考察や、育苗から無肥料栽培に取り組む場合のポイントなど、耕うんや代かきのタイミングなど、同じ無肥料米づくりと言えどもひとつひとつの作業に細かな調整が必要なお米作り。話すことが尽きない会となりました。



▷説明をする反田さん

江津市有機農業推進協議会からのお知らせ

有機農業に取り組む団体を支援します！

有機農業を実践する地域団体が行う独自の取組を支援します。講師謝金、視察料、研修負担金、印刷製本費などに使うことができます。（2分の1以内、年額5万円以内）しています。

こだわり野菜 PR シールを活用しよう！

農薬や化学肥料を使用しない栽培をしている農産物を消費者に安心して購入してもらうため「江津市有機農業推進協議会」で野菜 PR シールを作成、無料配布をしています。栽培記録などで農薬・化学肥料を使用していない証明などいくつかの条件を満たす人にお渡ししています。詳しくは協議会までお問合せください！



公式 LINE アカウント



こちらの通信をはじめ、協議会発信の様々な情報を発信しています。ぜひ友だち登録してください！

GO ganic ゴーガニックとは

長きに渡って有機農業を実践する生産者、オーガニックな食や暮らしの在り方を提唱する民間の有志メンバー、それらを取りまとめる江津市農林水産課、三者が手を取り合って立ち上がったプロジェクトです。イベントの開催や有機農業推進に向けたいろいろな活動を行っています。



詳しくはウェブサイトへ ➡ ➡ ➡